

クリーム膳所 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ会議で唱和をする。			
②	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らしさけられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住宅地の中にあり、事業所開設より自治会にも参加しているので存在や意義は十分に認識してもらっている。	地域の神社の行事の際にはゴマ木や人形に名前を書いてもらい、神社に収めている。		町で会えば挨拶を欠かさない。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族様の参加も多く、ご意見も頂いてます	始めて参加された家族様はクリーム膳所での暮らしを見てその活動的なところにびっくりされました。		外部評価にも取り組んでもらってよかったです
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	あまりできていない	運営推進会議に出席してくださってる		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月一回はスタッフ会議の中で拘束委員会を持ち利用者様の状況とてらし合わせています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンラインでの勉強会が今後増えてくるので外部研修への参加を促す。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と同じように勉強会を持ち防止に努めています。外部研修へも参加を促す。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緑生会は拘束を許さない方針ですが夜間のセンサー設置は転倒リスク回避のために必要です
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度については勉強会を持ってます。また、実際に制度を利用されています。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分に時間をかけて契約において等説明させてもらっている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱を設置している。運営推進会議に参加くださった家族様からの意見を聞いたりしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身内が入居するという事は残された家族には心配でしかなく特に配偶者の場合はその気持ちが強いです
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の声は運営会議の席などで議題にしたり、代表者に伝えたりする。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夏、冬の賞与時の自己評価表の提出		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の医師による勉強会が実施されています。介護士対象と看護師対象と日々の仕事に役立つものです。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会の継続
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以降法人の他の施設の職員との交流がない。			オンライン研修で交流を図りたい
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何でもしてあげるという姿勢ではなく出来ることはご自分でできるよう導きます			家族って感じが築けるといいです。
15	馴染みの人や場との関係維続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ5類以降、面会者も増えました。十分な時間は取れてませんがにこやかな表情の利用者様を見ることが出来ています。			面会の基準が緩むことを願う

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に家族様や本人から聞く情報をスタッフは共有している。それらを話題に利用者様と話すことにより把握していく			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画はケアマネだけに任せずそれにつながる情報を提供している。	3ヶ月毎に家族様からの評価を得てまた、介護計画に生かします。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録は毎日経過記録として利用者様の言葉、発言に注視して取り組んでいる		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	iPadへの入力もスタッフ全員が慣れてきます。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	臨機応変に対応することに努めてます。	訪問歯科往診、出張ヘアーカットサービス、多忙な、または遠方の家族様の代わりに外来受診にお供するためのサポートシステムあり。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	琵琶湖一斉清掃に参加する。また、恒例の地蔵盆では子供会の花火大会をクリーム膳所の利用者様ありきで、時間割など考えて下さっています			コロナ以降初めて行われた昨年の地蔵盆では窓越しの花火見学をさせてもらいました。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様のかかりつけ医に関しては家族様がお連れ下さいますが必要に応じてこちらでの様子などをお知らせしています			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各病院の地域連携室の方とは親密に連絡を取り合い入院中や退院後の利用者様のために役立てています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以降入院時の面会ができず、退院時にやっと会えるというかんじですので、連携室のかたとの関係が大事です

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りに関する指針を作つてます。看取りになった時点でスタッフ全員で勉強会を実施し改めてその利用者さまにかかわっていくようにしています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族様には1年に一回急変時の対応についてご回答願っています
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急搬送の手順を学んだ。救急車の呼び方、伝え方			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の防災訓練を実施している。その中でも特に水害が重点事項になっています。	コロナ禍で消防署の参加は無く自主訓練になってます。備蓄も課題でしたが2年分できています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のハザードマップが新しくできました。2年間有効な食糧備蓄ができました。備蓄品の賞味期限に注意する。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	丁寧語を使う事を基本に日々利用者様に接しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早口でいう事を避け一語一語はっきりと話すように心掛けている
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なかなかお一人お一人には添えませんが部屋に行きたいとかもう寝たいとか希望を言える方には添えるようしている。また、そんな気持ちを発していないか気ずけるようにしたい			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事食や誕生日のメニューは好みを生かします		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様と一緒に用意することが今は難しい。また、ミキサー食の方が増え好みのものを提供するのが難しい
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体重管理。水分量は毎日チェックします。日中飲めてない方はないか早めにチェック。			一日1000ccを目標にします。お茶が苦手ならお好きな飲み物を提供する。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアは必須です。歯や入れ歯の具合について悪ければすぐに訪問歯科の先生に相談しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様は毎食嫌がらずに洗面所に来てくれます。口をすぐのが難しいなら洗面器を受けて介助。寝たきりの方にはもっと十分に清潔に。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	トイレ誘導を積極的に行ってます。個人個人のトイレ間隔。便秘の方へは促す努力と薬対応しています。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	排泄に失敗しても攻めることはなく一刻も早く気持ちよくしてあげたいと思って」います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	曜日は叶えられないが個々に合わせた入り方をかんがえている。スタッフ不足で入浴回数が減っている			リフトも設置しています。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	早く入床したい方なかなか寝られない方、眠りの支援は大変です			適宜、適切な薬の服用もあります
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	誤薬を絶対に起こさないために日々気を付けてます。薬の知識も必要です。		Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	服薬拒否の場面での成功体験を共有することも大切。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	生活機能訓練は一人一人の力や好みに合わせたものがある。レクの内容も皆さんと一緒に楽しめるようにかんがえている。	やらされてる感は無く、自らペン習字に取り組むかたもおられます。コロナが下火の今、クリスマス会がたのしみです。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	5類以降花見や、紅葉ドライブを提供したが、利用者様の介護度の変化やスタッフ不足で散歩もままならずです。面会時、家族様に散歩をお願いもしました。	コロナ禍3年は外出支援はできずだった		外食の提供が長く出来てない
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	利用者様によってはお金についてとてもシビアな方もおられます。手元にないと嫌だという方も。しかし、認知症があり、毎日が私の財布はどこいったの世界です。そんな方も安心して生活してもらえるようにむきあってます。			介護度が上がり買い物が出来る人がいません。

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかってきました電話は必ず取り次ぎます。家族様からのお手紙に返事を書いてもらえるようにお手伝いします。年賀状をかきます。			毎日曜日、決まった時間に電話をかけてこられる家族様がおられます。利用者様のもしゃかり答えておられます。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勿論、バリアフリーです。手すりがあります。リビングルームでは時々や利用者様の状況に合わせて席替えをします。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁は季節に合わせたレイアウトでかざります。利用者様の作品でもあります

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここに居たらご飯の用意もしないといいし有難いなあという利用者様の声をいただいてます			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔、つかれていた仕事のお話を聞き、商売をされてたらソロバンをお見せしてやってもらいます。			入居時にはその方の生活歴など詳しく伺いその後のケアに活かしていきたい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定、転倒リスクのある人の歩行見守り、毎月の体重測定。iPadを活用している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	衣食住で本人のリズムに合わせている			好きな時間に起きて、好きなものを食べて暮らしてこられた方には規則正しい生活に慣れるまで少し時間がかかります。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、家族様にはご本人がいつも使っておられる物を持って来てくださいとお願いしています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		グループホームでの写真やぬり絵等ご自分の作品をお部屋に飾ります。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前ですがスタッフと一緒に市民会館でのコンサートに出かけたことがあります。			介護度がすすみ出来ていない
46		本人は、自分ができること・できないこと、わざること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症になつても、出来ることを見つけてあげられるようにと、意識をもつて利用者様とお付き合いしている。			介護度があがつてもきれいに洗濯物をたたんでくださいます
47	が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ●C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お話しの得意な方がいました。その話についていって話が弾むこともありました。そんなときは、たのしそうでした。		A. 充分にできている B. ほぼできている ●C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナや介護度の変化でそんな場面も少なくなりましたが、スタッフが利用者様の間に入り話を盛り上げています。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ●D. ほとんどできていない	コロナ前は、利用者様も地元の方なので散歩の時など知り合いの人にはうこともあり楽しく交流されていた			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここに来てよかつたわという言葉をきかせてもらっています。帰りたいという入居間もない人に、帰らんでもいいが、ここはいいとやでと言つて止めてくれる発言を聞くことあり。	帰宅願望が強い利用者様がスタッフや利用者様どうし顔なじみになり徐々に落ち着いていただくことが課題です	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居間もない方には帰宅願望も強いのでその対応がスタッフによってちがわないようにして、安心感を与えるようにする。

(参考様式4)

目標達成計画

グループホーム クリーム膳所

作成日 令和 7 年 1 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくななるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	2023年5月、5類になったが施設内は感染予防継続中。施設での生活から広げられていない。屋外に出掛ける環境を作りたい..	感染予防を行いながら安心して外出が出来る。	感染予防に対する施設の方針を守りながら屋外に出掛ける計画を立て、近所へ散歩やドライブ等出来ることを行う。医師の指示に従いながら行う。	12ヶ月
2	III-27	認知症のレベルが進んでる。骨折してしまった利用者さんもいる。	その人らしい生活がいつまでも送れる。	脳トレや、リハビリを個人にあわせてできるようにプログラムができたらいいと思う	12か月
3	IV	なぜ、ここに居るの？わからないの。不安がつて利用者さんがいます。	ここで暮らしていくいいんだ、と思ってもらえる、安心感を持ってもらう	帰りたい気持ちを十分に理解してあげる。その気持ちへの対応をスタッフ間で統一する。	12か月
4	II-16他	1日一回は利用者様の笑い声が聞きたいどうしても自席でじっとしていることが多くなりそのまま傾眠してしまっている。昼夜逆転の方が多くなっています。	全員で楽しめる事を1日一回でも持ち、スタッフは利用者様の笑いが引き出せるように取り組む 昼間の傾眠を少なくする	必ず行う食前の口腔体操も工夫して声出しとともに笑い声も引き出そう。スタッフの個性を活かしたレクリエーションをやってみよう。 利用者さんへの声掛けを増やそう	12か月
5		医療依存度が今後増すことが予測できる。	褥瘡にさせない。	医療的ケアの研修や自己研鑽に努める	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

